

国連人権委に訴え 慰安婦問題 韓国の団体

【ソウル22日】小田川 治下の従軍慰安婦をはじめ、韓国の挺身隊問題対策とする強制連行被害の解決のため、来月中旬に国連人権委員会に同協議会の代表を派遣してこの問題を国際世論に訴えることを明らかにした。また、日本の裁判所に慰安婦被害の補償を新たに提起する方針であることも表明した。

従軍慰安婦問題は、韓国が日本政府に対して公式に補償を要求する動きに発展したが、国内でも市民団体が証言を集めており、朝日新聞社にも投資や電話が相次いでいる。「国家機関として慰安婦を利用した」と証言する元慰安婦は、直接かかわった男性たちが「軍の関与」について、その重い口を開き始めている。

▲国家機関、終戦直前の

一九四五年春、慰兵伍長だった自分は、千葉の九十九里の部隊に上等兵としてめぐり込んだ。本土決戦に備え、陣地の構築の様子や地雷の敷設工事状況など、正確な情報を報告するのが任務だった。一帯には慰安所が三カ所あり、合わせて約六十人いた。ほとんど日本人で、朝鮮人も少しいた。

軍隊というところは、都合の悪いことは報告せずにきつらい。そこで「慰安婦を利用した」と憲兵隊上尉部から指令が出た。八人を選び、客を装って接触した。

客としての料金が二、三円だった当時、五十円近く稼いだ。軍事情報を開き出してもらうよう頼んだ。慰安婦の下着も作っていた。朝鮮人慰安婦が敵のスパイだったら大変なので、出身地や両親の仕事、学歴などを報告させた。

慰安所を作るための資料

慰安所司令官がいた 物資購入に軍の証明書

元憲兵ら証言

（69歳・東京都千代田区）
「二割引き」中国東北部の部隊に慰兵として送り込まれた。情報を集め、軍の不正を見張るのが仕事だった。朝鮮人慰安婦が敵のスパイだったら大変なので、出身地や両親の仕事、学歴などを報告させた。

慰安所を作るための資料

（73歳・東京都町田市）
北省付近で、前線から少し離れた陸軍野戦予備病院の外科医をしていた。病院近くの慰安所は、数人が粗末な長屋風の小屋に住み、三畳ほどの部屋で暮らしていた。慰安婦用の殺菌薬や避妊具は、すべて病院側で配給していた。衛生部隊の隊長が全部管理していた。慰安所は完全に軍の組織の一部だった。

（79歳・東京都小平市）
慰安婦を軍が管理していたことについては、「周辺の遊郭を集め、監督下に置いていた」（慰安係長だった都内の元少尉）、「旧日本陸軍が朝鮮人女性を地域別に割り当てて徴発、御用船で運んだ」（広島元憲兵准尉）など、これまで数人が体験記を刊行したり、証言したりしている。

が関与したことを認めたい以上、国家による賠償が行われなければならない。慰安婦被害者の個人補償も早期に実現されるべきだ」と表明。六五年の日韓請求権協定の改定、補償を要求した。同会は毎週水曜日にソウルの日本大使館前で、抗議デモを続けるという。

北朝鮮大使も批判
【北京支局22日】朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）の朱昌駿・駐中国大使は二十一日、北京で記者会見した。太平洋戦争中の「従軍慰安婦問題」について、「日本侵略軍が強制して集めた慰安婦は十万人から二十数万人にのぼり、その大部分は当時日本が統治していた朝鮮から集められた」と述べ、金羅南道や釜山などの女学校からも、生徒を連行した、と非難した。

は、軍が二割引きで提供していた。軍と業者の癒着が激しく、安くしすぎることもあった。部隊が南方に移ると、慰安所も一緒について来た。まったく軍の付属機関扱いだった。日本人の慰安婦も多かった。補償する場合は、日本人も加えるべきだ。

（79歳・東京都小平市）
慰安婦を軍が管理していたことについては、「周辺の遊郭を集め、監督下に置いていた」（慰安係長だった都内の元少尉）、「旧日本陸軍が朝鮮人女性を地域別に割り当てて徴発、御用船で運んだ」（広島元憲兵准尉）など、これまで数人が体験記を刊行したり、証言したりしている。